

事業の流れ

技術系の仕事



平成14年度入省／土木
企画部広域計画課
係長

山田 真理子

中部で暮らす誰もが快適で安全・安心な生活を送ることができるように、中部圏の将来像や主要事業の施策を考えることが企画部の仕事です。私は概ね10年の中部の地域づくりの方向性や具体的な戦略を示す新たな「中部圏広域地方計画」の効果的な推進に向け、計画の検討及び取り組みの進捗管理を行う事務局を担当しています。

リニア中央新幹線（東京～名古屋）の開業を見据え、リニアの効果を最大限発揮し得る中部圏づくりとして「暮らしやすさと歴史文化に彩られた“世界ものづくり対流拠点-中部”」を目標として掲げ、目指すべき中部圏の将来像の実現のため、国、地方公共団体、経済団体等が連携して、様々な取り組みを推進しています。



平成30年度入省／土木
岐阜国道事務所 計画課

山本 彩依

私は現場見学会等の広報や41号飛水峡街道上麻生防災事業の設計、測量の業務等、様々な業務を行っています。調査を行い、いろいろな観点で考えながら設計を行うため、難しく感じるがありますが、関係機関と何度も打ち合わせを行ったり、周辺住民の方々に説明を行ったりしながらよりよい道路になるよう設計を進めています。

昨年度には上麻生防災事業の起工式がおこなわれ、自分が携わったトンネルや橋梁の設計が、工事着手し、何もなかった場所に構造物ができることを考えると、とてもやりがいを感じます。



平成30年度入省／土木
岐阜国道事務所 工務課

河田 祐奈

私は現在「東海環状自動車道」西回り区間の工事発注に携わっています。契約前の工事費の積算においては、数億から数十億もの予算を取り扱うことから責任の大きさに不安を感じつつ、適正に行うため緊張感を持って行っています。契約後においては、施工業者や設計コンサルの方と連絡を密に取り、滞りなく工事を進められるように努めています。

専門的な知識を多く求められるため戸惑うこともありますが、たくさん現場に足を運ぶことや周りの方々の力を借りることで解決し、工事が無事に完成まで至ったときの達成感はとても大きくやりがいを感じます。



平成12年度入省／土木
岐阜国道事務所
建設監督官

伊藤 誠二

私は工事の監督や指導を主に行っています。また関係自治体との調整や地元住民への工事説明などを行っています。工事では、事故を起こさない、品質の良い物を作る、工事により地域住民の方には負担をかけないという気持ちで施工業者を監督・指導して工事を進めています。土木構造物は、人の手では造るのが困難そうな大きい物でも現場作業員さん含め、多くの関係者が関わり徐々に徐々に完成に近づきます。それを間近で見て携わりながら、事故無く良い物が完成したときには微力ながらも貢献できたのかなと嬉しく思います。そして、今後も形として地図として残ることに大きな喜びを感じます。地域住民の方から工事への応援や開通を待ち望む声を聞くことが多くあります。重要な事業に携わっていることを肌で感じて大きな責任と使命感を感じますが、それがやりがいに繋がり情熱を持って仕事に取り組むことができます。



平成31年度入省／土木
岐阜国道事務所
管理第二課

菅沼 美紀

管理第二課では、国道を安全、安心にご利用いただくため、道路の維持管理及び交通安全、防災等に関する業務・工事の発注を行っています。「生活に欠かすことのできない道路の安全を守る、道路をより安心してご利用を続けていただくために」という使命のもと、日々の仕事に取り組んでいます。道路の維持管理では、道路構造物等について点検を行い、その結果に基づき老朽化した構造物の補修を行います。加えて、地震等の災害時も道路供用を続けるための耐震補強、落石等の災害を防止するための防災対策等、安全のための対策を行っています。また、交差点改良や電線共同溝等の事業を行い、より安全で快適な道路空間の整備を行っています。工事後により快適な道路としてご利用いただけていることを実感した時、人びとの生活を支える道路の安全に携わっていることに大きなやりがいを感じます。



企画



地域のビジョン
(国土計画、地方計画等)や
方針・計画を策定



調査設計



事業を実施するのに
必要な現状調査や経済性評価、
環境影響評価、設計等



用地取得



事業に必要な土地の取得や
それに伴う建物等の移転補償



契約



工事の設計チェックや積算、
業者の技術力審査、予算の管理、
決算などの経理事務、請負契約の締結、
国有財産の管理等



工事



工事の監督・指導、
地元や関係機関との調整等

完 成



管理



河川・ダム・道路の点検、
パトロールや維持・修繕等、
河川・道路利用の許認可事務、
国有財産の管理等

技術系・事務系共通の仕事



平成17年度入省／行政
総務部総務課
係長

岩田 礼司

広報係ではほぼ毎日、各担当部署からのお知らせ（報道発表）を報道機関へ提供しています。みなさんにわかりやすく、伝わる発表資料にするため、担当者日々連携をとることを心がけています。様々な部署の職員と接し、それぞれの担当している業務を詳しく知ること、中部地方整備局が担っている多岐にわたる役割の重要性を理解できることも広報業務の魅力のひとつです。

記事に取り上げられ、注目された報道発表を分析することで、注目されやすい資料の作り方や、世間の関心事の傾向を学んでいます。

また、職員を対象とした広報研修を開催し、組織全体の広報スキルアップにも取り組んでいます。入省間もない職員も、担当する職務に関わらず広報に携わることができ、積極的に発信する機会があります。自分の仕事を多くの人に知って頂くことでやりがいを感じることができると思います。

事務系の仕事



平成8年度入省／行政
岐阜国道事務所 総務課
専門官

石樽 久修

私は現在、業務で職員が使用する自動車の配車計画を日々作成したり、行政文書の管理について事務所内でとりまとめをしたりしています。今年度は、新型コロナウイルス対応でテレワーク勤務が積極的に推進されたことで、機器や執務室環境を整備したり、テレワークの実施内容を職員へ周知したりと突発的な業務も行っています。

総務課は、用地課や工務課などとは異なり、事業に直接関わりがある部署ではなく、現場に行くこともありませんが、事務所が円滑に業務を進められるように縁の下の手持ちとなって頑張るところだと思いますし、職員から頼りにされるとうれしくなります。

また、事務所の窓口として一般の方からの問合せにも対応することがあり、できるかぎり丁寧に、事務所でも対応しきれないときは対応できそうなところを案内するなど問合せした方の役に立てられるよう心がけてお話ししています。

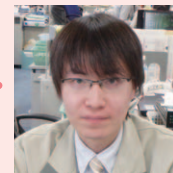


平成26年度入省／行政
岐阜国道事務所
用地第一課
係長

伊藤 裕介

私は現在、道路の交通安全や防災に関する事業の用地取得に携わっています。事業に必要な用地をお譲りいただくため、土地や建物などを調査し、土地代金や建物移転料等を算定して土地所有者の方へ補償内容を説明します。簡単には応じていただけない場合もありますが、何度も足を運んで丁寧に説明をし、契約できたときにやりがいを感じます。

契約後は土地の登記や補償金の支払などの事務を行います。その後工事が施工され、自分が用地取得に携わった箇所の工事が完了したときには、更にやりがいを感じます。事業を進めるためには土地所有者や地域住民など関係者の協力が必要不可欠であるため、関係者の方と接する際は、お話しする時間を頂けることに感謝し誠意をもって対応するよう心がけています。



平成26年度入省／行政
岐阜国道事務所 経理課
係長

山下 昌宏

私は道路に関する計画・調査・設計業務の発注・契約事務を担当しています。国土交通省が行う業務は、国民生活の基盤となる大規模な社会インフラの整備に関わるものであるため、その手続きにミスがあると、国民の皆様や事業者の方を始め、多くの方々に多大な悪影響を及ぼします。そのため、課内や所内の関係部署と綿密に打合せする等、慎重に事務を進めています。

「社会インフラのスムーズな整備には、発注・契約事務をミスなく進めることが必要不可欠だ」という思いで、日々やりがいを感じながら、仕事に取り組んでいます。



平成28年度入省／行政
岐阜国道事務所
大垣維持出張所 係長

坂本 晃啓

私たちが管理している国道は道路網の骨格を形成する幹線道路であるため、事故等が発生した場合、道路を使う人に大きな影響がでる恐れがあります。そのため、いち早く道路の異変に気づき事故や災害を防ぐために、日々道路のパトロールや施設の点検を行っています。

また、出張所は道路管理の窓口になるので様々な要望や相談が来ます。難しい事案に対しては独りで考え込むのではなく、周りの人と相談しながら対応していきます。

道路という生活に欠かせないものを管理するという仕事に責任とやりがいを感じ、日々業務に取り組んでいます。